

社協名	社会福祉法人 大津町社会福祉協議会
-----	-------------------

住 所	熊本県菊池郡大津町室 151 番地 1 (大津町老人福祉センター内)
電 話	096 (293) 2027
ファックス	096 (293) 2028
メール	o-shakyo@wonder.ocn.ne.jp
担当部署及び担当者	地域福祉係

テーマ番号	事業・取組み名
1	小地域福祉活動推進座談会の開催

取組のきっかけ

- ・ 地域コミュニティの希薄化の進行
- ・ 地域コミュニティの崩壊
- ・ 地域の区長、区役員、民生児童委員等との連携不足
- ・ 地域団体間の連携や情報交換の不足
- ・ 異世代間の交流の欠如
- ・ 地区伝承行事の衰退
- ・ 町村合併の進行
- ・ 熊本地震

* 取組み開始日 (H21~)

具体的な取組み内容と実施体制

地域住民と一緒に座談会を開催し、地区の活動報告や情報提供並びに地区団体の活動報告や情報提供を行うとともに、生活課題である地域の困りごとを話し合い、個人で、地域で解決できることから活動を始める。そのことを繰り返すことで、地域住民にも福祉意識の啓発につながる。

地域福祉推進委員を選任し、社協と地域のパイプ役となって頂き、民生委員と協力しながら、地域住民の相談ごとの早期発見や早期対応につなげる。



地域での座談会風景



ふれあいコンテナ回収



地域福祉推進委員研修会

* 平成 30 年度予算額 () 円

事業実施の効果

○ふれあいコンテナ回収

希薄化の進んでいた地域で自治会全体の取り組みとして行うことで、顔の見える地域づくりの一助となった。

○オレンジ隊

希薄化の進んでいた地域で有志を募り近隣自治会と合同で行うことで、見守り活動の支援やサロン活動等につながった。

○男の料理教室

男性が料理し、女性をもてなすことで、男女共同の意識づくりが広がった。

○防災マップの作成

消火栓や防火水槽の位置などの確認から始まり、避難個所や危険個所の記載なども行われ、日ごろからの地域防災意識の向上につながった。

○防災訓練の実施

女性や高齢者、消防団 OB などが、消火栓を使って訓練をすることで、いざという時の対応の強化につながった。

○ふれあいサロンの開催

高齢者の少ない地域での取り組みで、高齢者同士の横のつながりの強化と情報交換が図られる体制づくりが構築された。

○ひまわり BBQ

休耕地の有効活用で、地域住民の交流活動が行われた。

今後に向けて（課題など）

小地域福祉活動推進に取り組んでいる地域が少ないので、今後は、すべての行政区で取り組んでいただけるように努力を重ねて行く。

活動が盛んだった地区が、熊本地震時の対応がスムーズに行われていたので、今後は、防災の観点からも連携して推進して行く。